

2018 年 7 月 18 日

岡部株式会社

ピタットベースの発売開始について

当社は 2018 年 7 月 18 日に木造用高耐力柱脚金物 「ピタットベース」の販売を開始しました。

ピタットベースは、柱脚金物と特殊な形状の施工誤差吸収部材 (C1 リング, C2 リング), 特殊な形状の座金 (Q1 座金, Q2 座金) で構成しています。

ピタットベースの特長は、①高い引張耐力を有すると同時にせん断耐力を有する、②大きな施工誤差を吸収できる、③接合部をスッキリ納めることができる、などがあります。

①高い引張耐力を有すると同時にせん断耐力を有する

短期許容引張耐力は 60.0kN (使用環境Ⅱ) という高い耐力を有しています。この耐力は、通常のホールダウン 2 本分の引張耐力に相当します。引張荷重を受けると同時にせん断力を受けることも可能で、短期許容せん断耐力は 20.0kN (使用環境Ⅱ) です。引張耐力だけでなく、圧縮耐力も有しており、短期許容圧縮耐力は 102.2kN (使用環境Ⅱ) です。

②大きな施工誤差を吸収

三日月状の C1 リングと C2 リングを用いることで、±15mm の施工誤差を吸収することができます。施工誤差によって生じる手間を大幅に低減することが可能です。

③接合部をスッキリ納める

柱脚金物は 105mm×105mm というコンパクトな形状で、周囲との干渉が少なくなっています。ホールダウンの取付が不要であるため、断熱材や接合部をスッキリ納めることが可能です。

ピタットベースは第三者機関ハウスプラス確認検査(株)の評価(HP 評価(木)-17-017)を取得しています。

販売に際しては、非住宅の木造建築物や 3 階建て戸建木造住宅を中心に、3 年後 2000 棟の採用を目指し、営業活動を実施していきます。

【お問合せ】

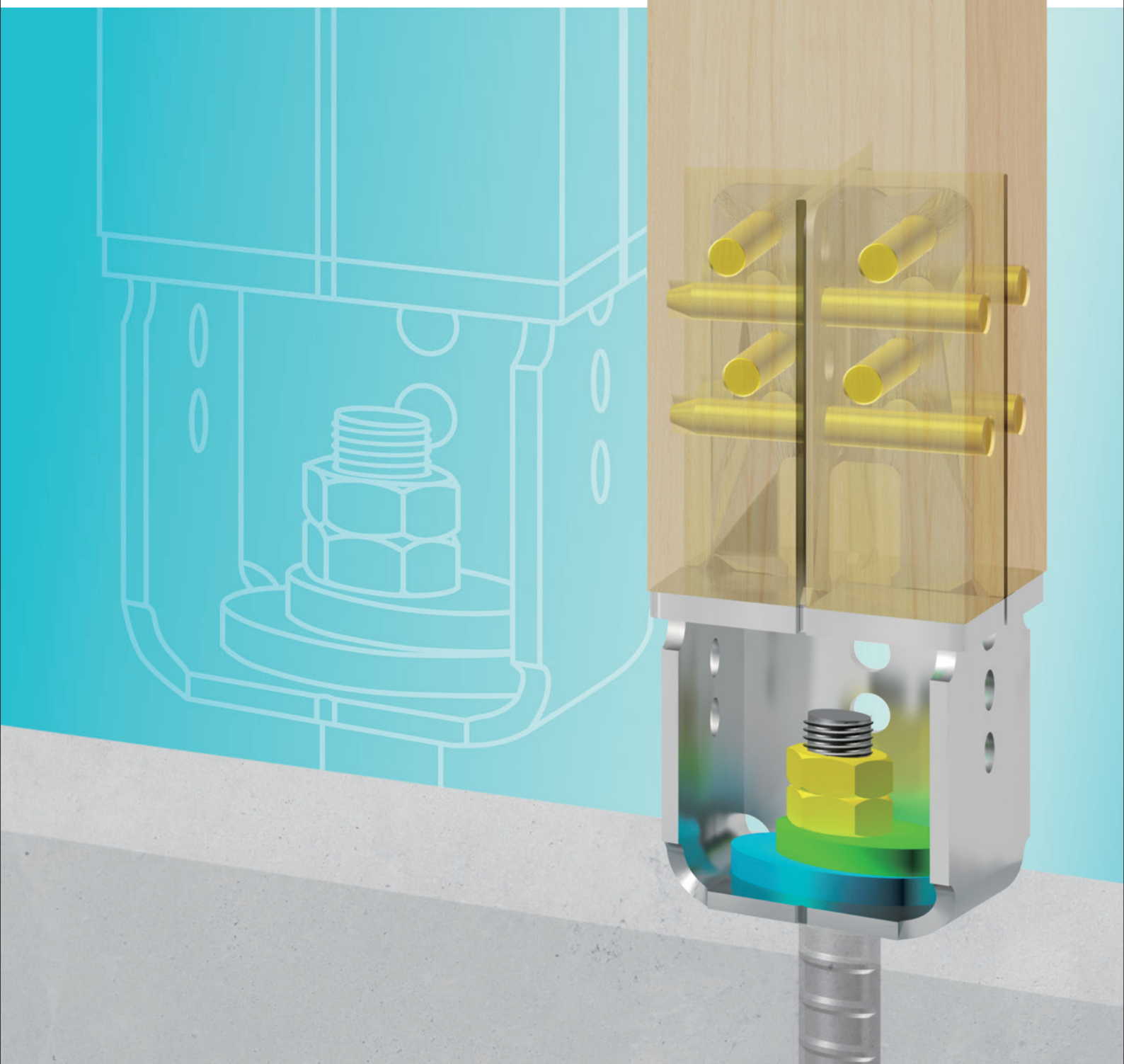
木造戸建部材グループ TEL03-3624-5401

以上

高耐力柱脚金物

施工誤差吸収タイプ

ピタットベース PAT.P.



岡部株式会社

okabe

特 長

高い引張耐力

短期許容引張耐力 60.0kN
(使用環境Ⅱ)

せん断耐力

短期許容せん断耐力 20.0kN
(使用環境Ⅱ)

圧縮耐力

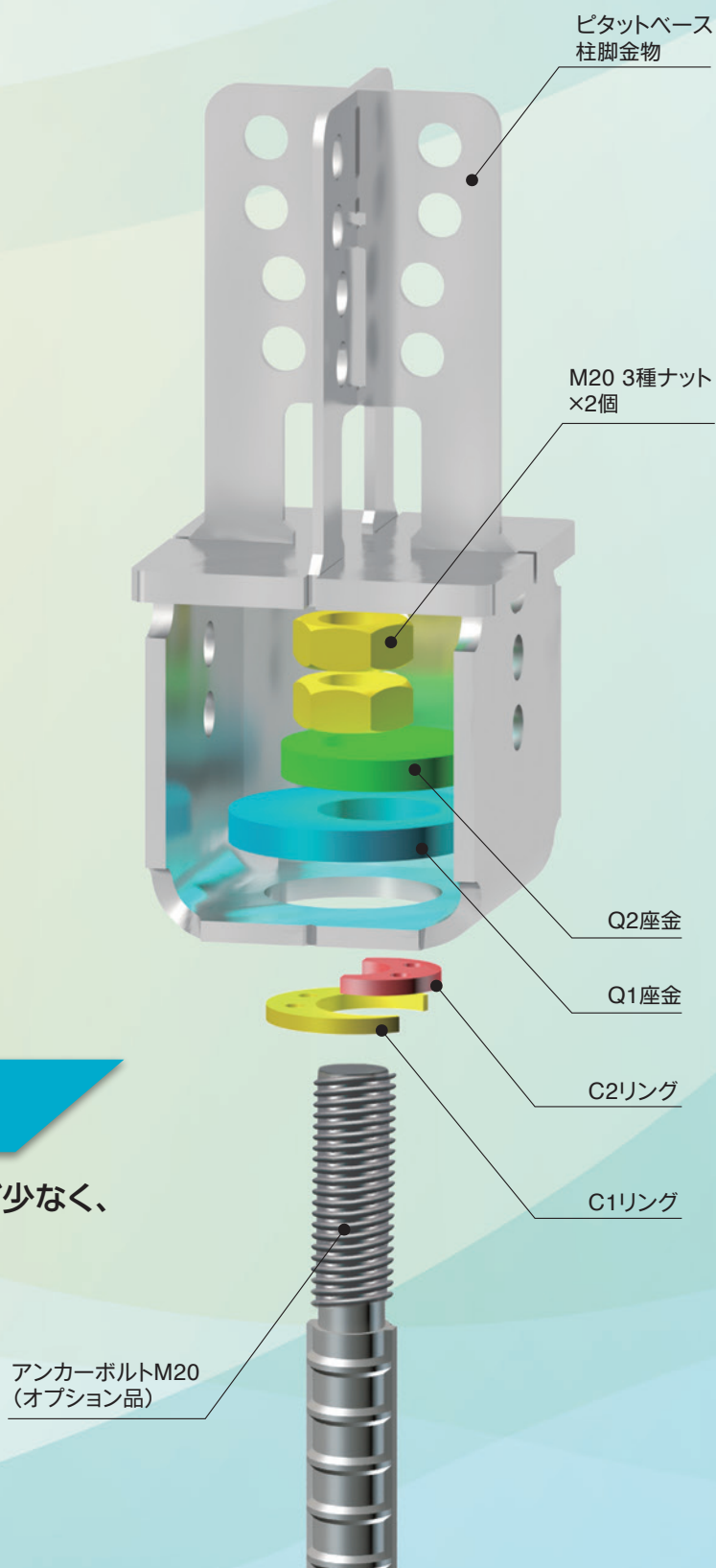
短期許容圧縮耐力 102.2kN
(使用環境Ⅱ)

施工誤差を吸収

アンカーボルト施工誤差
水平方向に±15mm対応

接合部の納まりをスッキリ

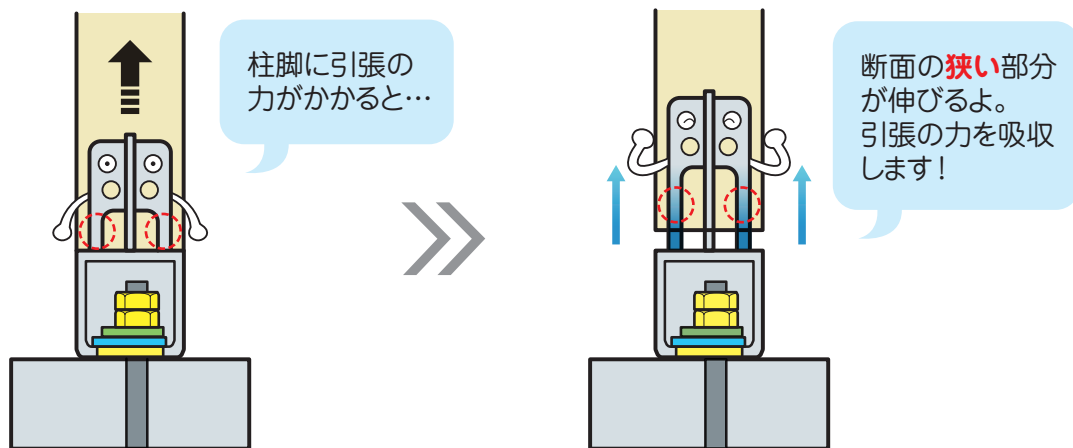
ホールダウン金物、接合金物の干渉が少なく、
断熱材の納まりや意匠性もスッキリ



01

安定した引張性能と靱性効果を発揮

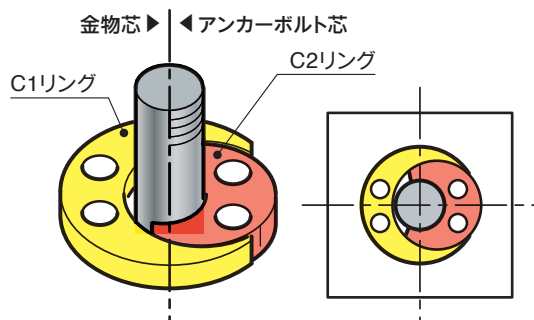
■ 柱脚金物に**狭い**断面を設けることで、金属の粘りを活かした靱性を発揮します



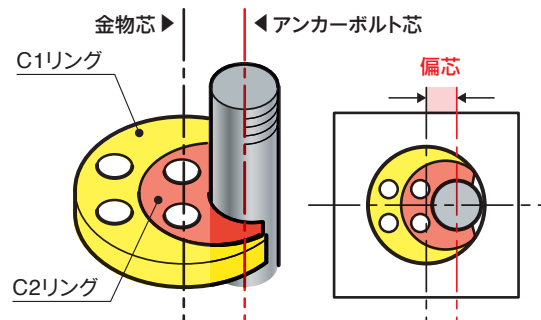
02

アンカーボルトの施工誤差 (±15mm) を吸収

■ アンカーボルト芯と金物の芯が一致するとき



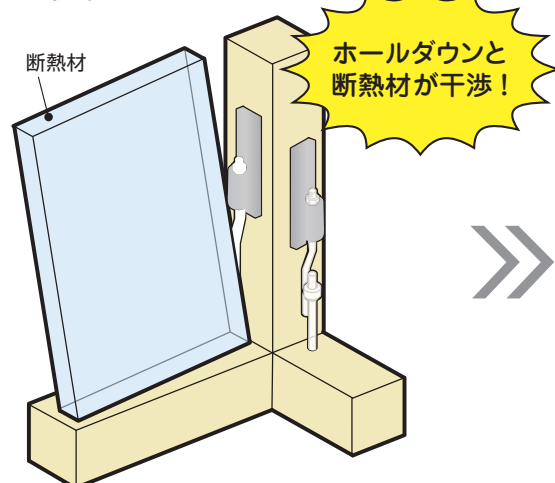
■ アンカーボルト芯と金物の芯が一致しないとき



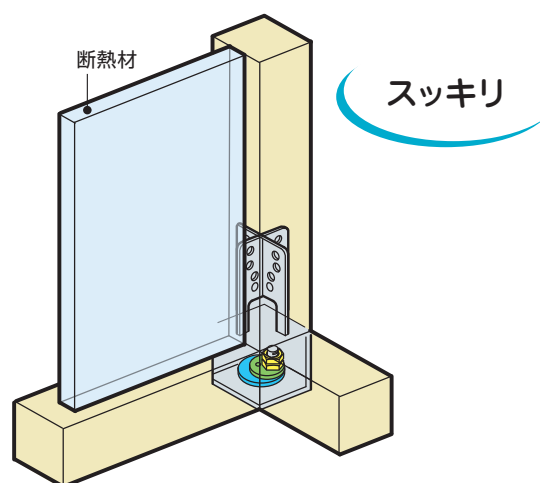
03

接合部・断熱材の納まりがスッキリ

■ 従来では

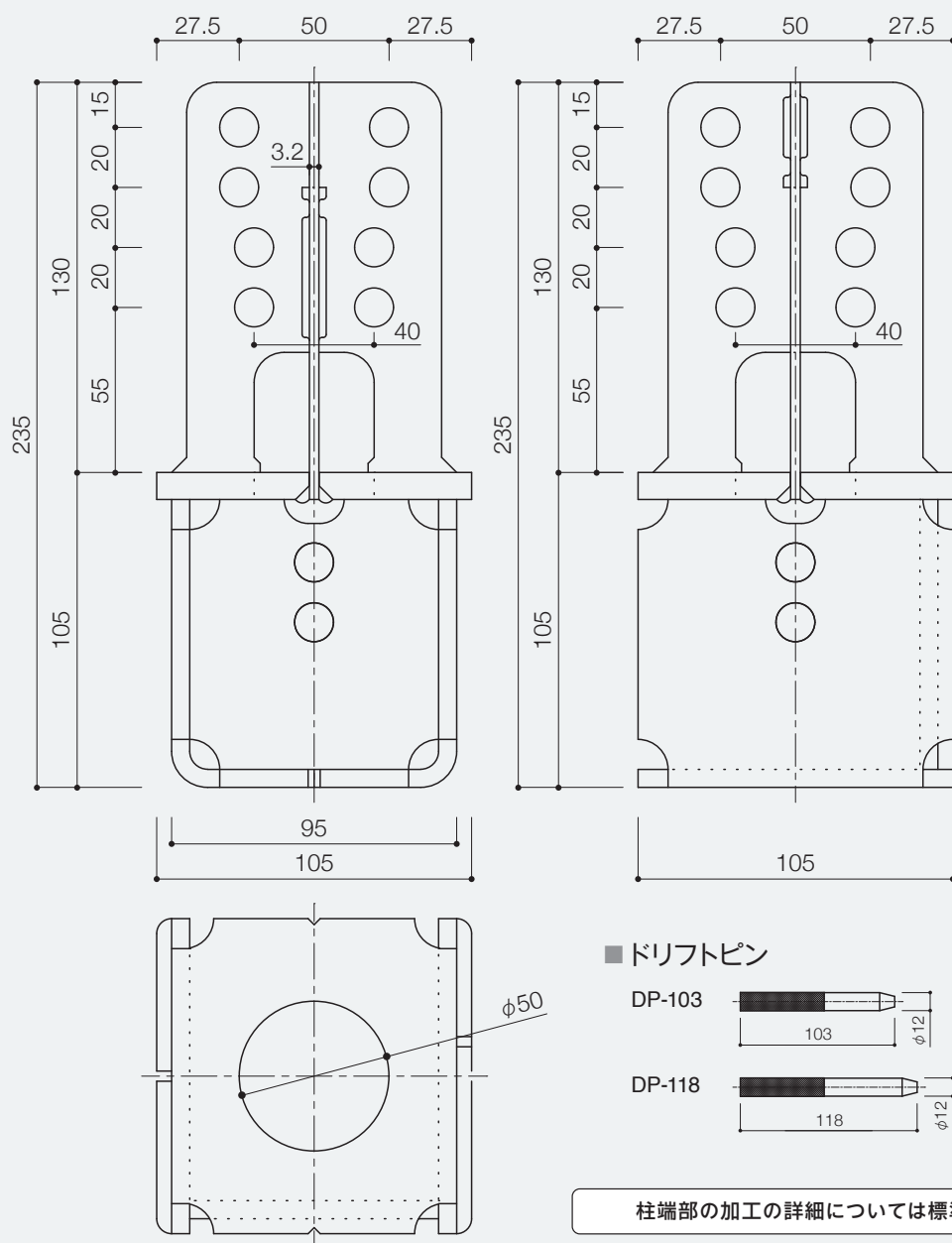


■ ピタットベースをつかうと

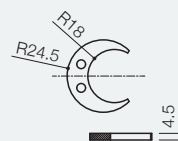


部品寸法(標準品)

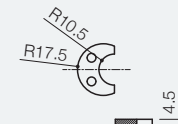
■ピタットベース柱脚金物



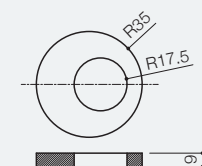
■C1リング



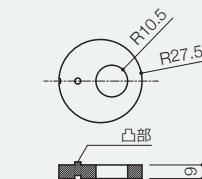
■C2リング



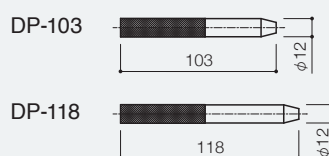
■Q1座金



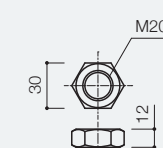
■Q2座金



■ドリフトピン



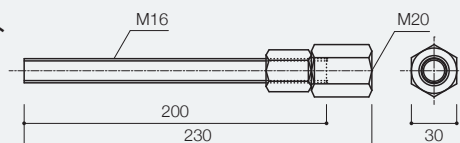
■M20 3種ナット



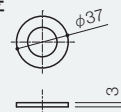
柱端部の加工の詳細については標準図を御覧ください

部品寸法(オプション品)

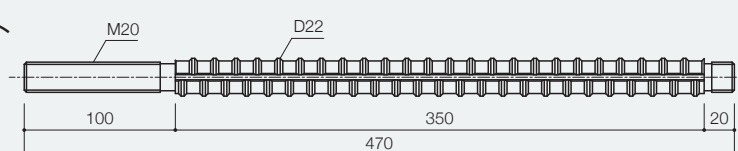
■アンカー吊下ボルト



■M20座金



■M20アンカーボルト



評価

■ ハウスプラス確認検査株式会社 HP評価 (木)-17-017

評価書

HP評価 (木)-17-017

岡部株式会社
取締役社長 廣瀬 真 様

平成29年7月31日付で申請を受理した下地の構造方法について、御送付の検査報告書に基づき構造耐力上支障のないものと判断し、評価する。

平成29年10月30日

ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 伊藤 信雄 様

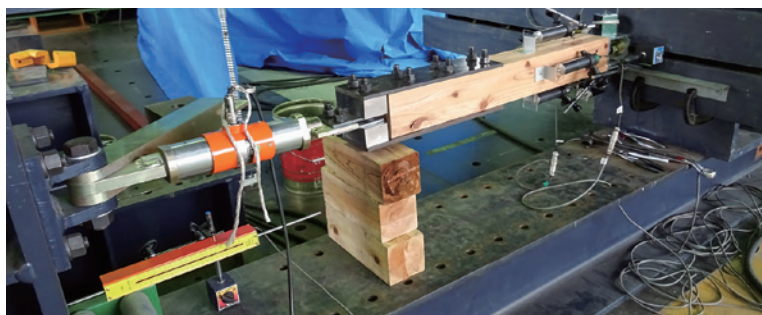
記

1. 構造方法の名称
柱脚接合部:「WB105」/柱断面:105mm以上×105mm以上仕様および柱断面:120mm以上×120mm以上仕様、スリット加工:幅4mm、長さ135mm、十字字/柱と接合部材の接合部:ドリフトピン DP103 (柱105mm角以上仕様)、ドリフトピン DP118 (柱120mm角以上仕様)/接合部材と基礎等の固定方法:アンカーボルト M20 及び M20 ナット (3種) ×2 個、C1 リング、C2 リング、G1 座金及び G2 座金/柱間壁造り仕様/柱間壁工法の柱-基礎等接合部材の接合方法

2. 評価事項
(1)「1. 構造方法の名称」に示す接合部(以下、接合方法と称す)の「許容耐力」、「終局耐力」及び「剛性」
(2) 接合方法の接合部材に対する安全性の確認方法
ただし、当該接合方法で用いる基礎等(下地が鉄筋コンクリート造の構造体の場合を含む。以下、基礎等と称す。)及びアンカーボルトの基礎等に対する定着については評価の対象外とする。

3. 評価結果
(1) 接合部の「短期許容耐力」、「終局耐力」及び「剛性」を「表:柱脚接合部の短期許容耐力、終局耐力及び剛性」の通り評価した。
接合部の「長期圧縮許容耐力」の算定方法は下記による。
「長期圧縮許容耐力」=「短期圧縮許容耐力」× $\frac{1.1}{2}$
(2) 接合部の耐力に対する安全性の確認方法
柱脚部のせん断力と引張力の伝達に支障がない接合仕様の場合は、以下の検討を行うこと

1/3



ハウスプラス確認検査株式会社 評価書(写)

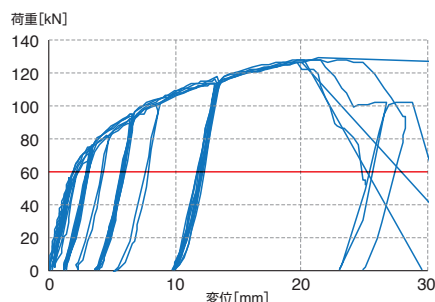
評価試験風景 於) 岡部株式会社 構造実験センター

性能

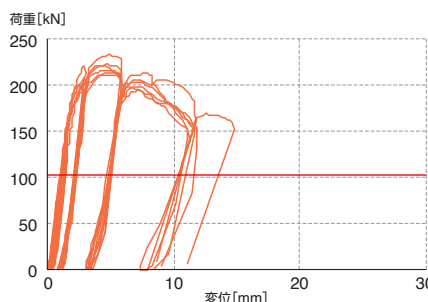
		環 境	短期許容 接合耐力 [kN]	終局耐力 [kN]	剛性K _{3mm} [kN/mm]
製 材	引 張	I	49.2	64.2	13.0
		II	60.0	78.4	15.8
		III	62.9	92.5	18.7
	圧 縮	I	84.7	115.8	39.7
		II	102.2	139.7	47.9
		III	121.1	165.4	56.7
	せん断	I	16.6	23.5	4.9
		II	20.0	28.3	5.9
		III	21.9	33.5	7.0

		環 境	短期許容 接合耐力 [kN]	終局耐力 [kN]	剛性K _{3mm} [kN/mm]
集 成 材	引 張	I	55.0	72.1	15.2
		II	63.2	87.4	18.4
		III	63.2	103.8	21.9
	圧 縮	I	88.8	121.3	41.6
		II	107.6	147.1	50.4
		III	127.8	174.6	59.9
	せん断	I	17.4	24.6	5.1
		II	21.0	29.8	6.2
		III	23.1	35.4	7.4

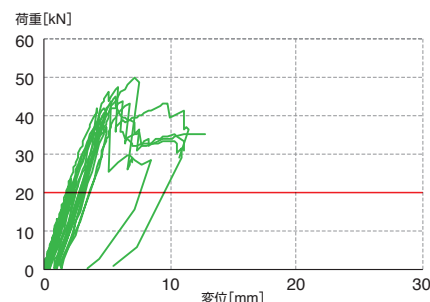
※ [使用環境Ⅰ] 常時湿潤状態における環境 [使用環境Ⅱ] 継続的に湿潤状態となる環境 [使用環境Ⅲ] 通常の使用環境(使用環境ⅠおよびⅡ以外の環境)



短期許容引張耐力60.0kN
(使用環境Ⅱ)

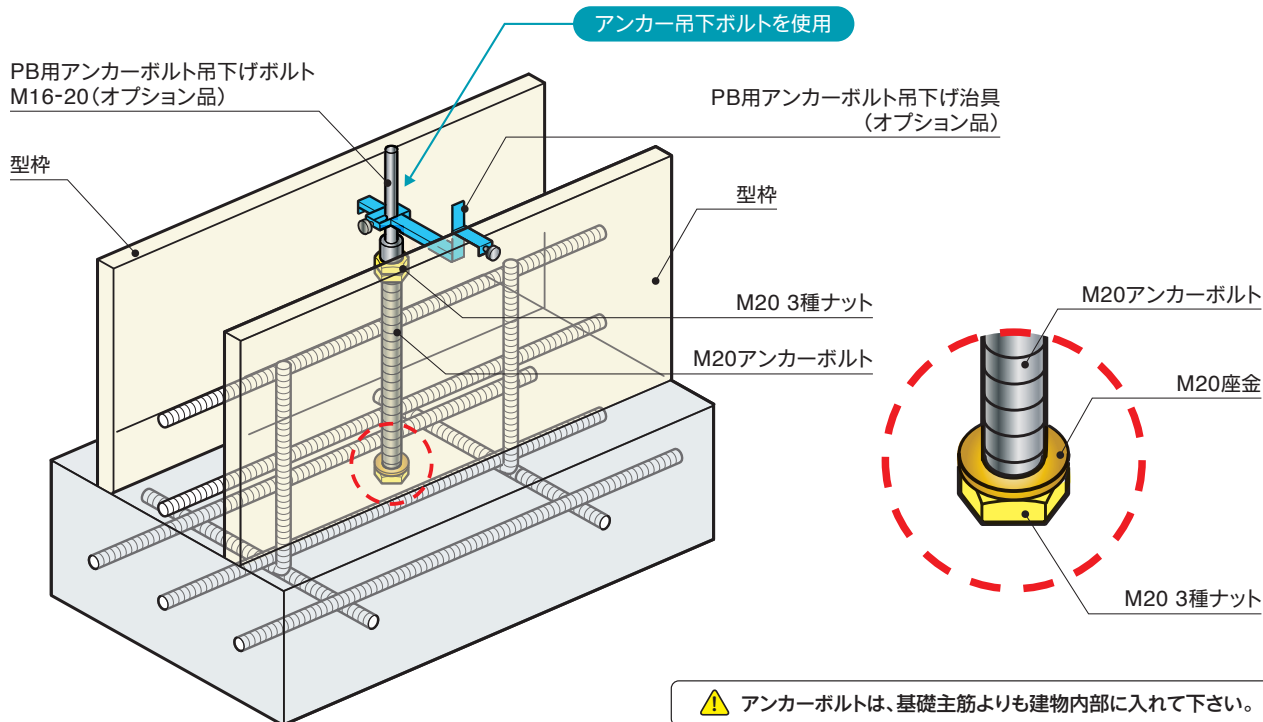


短期許容圧縮耐力102.2kN
(使用環境Ⅱ)

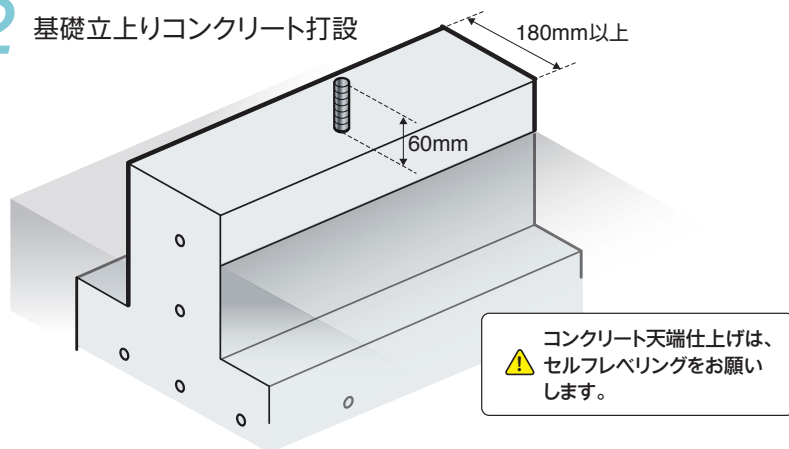


短期許容せん断耐力20.0kN
(使用環境Ⅱ)

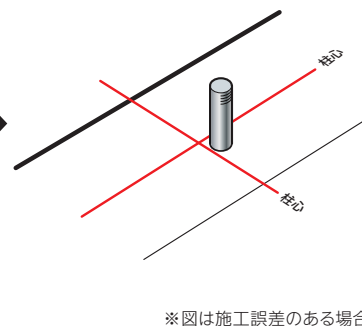
1 アンカーボルト設置



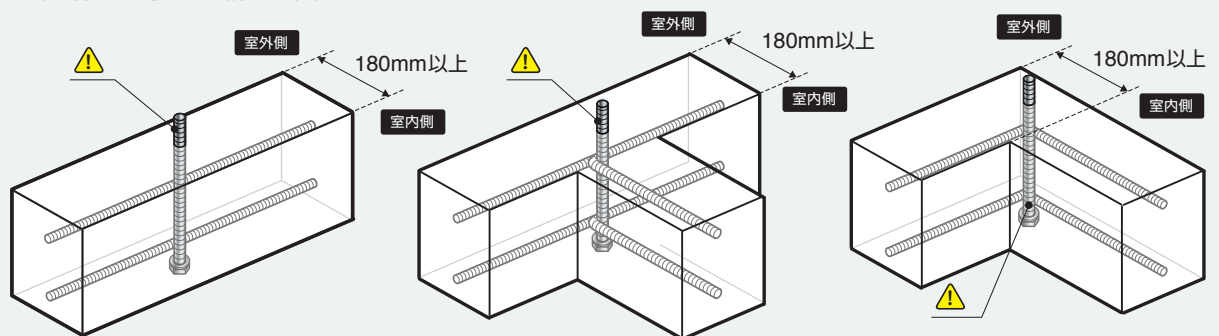
2 基礎立上りコンクリート打設



3 墨出し



■ 配筋注意事項 納まり図



※納まり図は、基礎主筋とアンカーボルトの関係を示した模式図

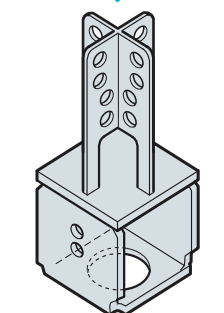
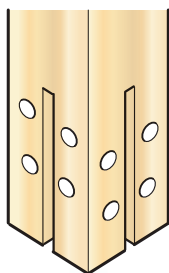
鉄筋およびアンカーボルトは必要なぶり寸法を守って下さい。

⚠ アンカーボルトは、基礎主筋よりも建物内部に入れて下さい。

4 ピタットベース柱脚金物と柱を接合

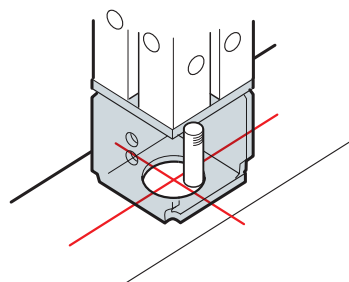
※柱のスリット・孔寸法は標準図をご参照下さい。

柱

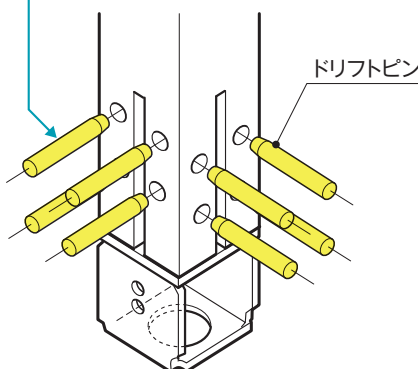


ピタットベース柱脚金物

5 柱脚金物を墨に合わせて設置

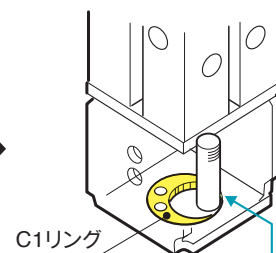


ドリフトピン8本使用



ドリフトピン

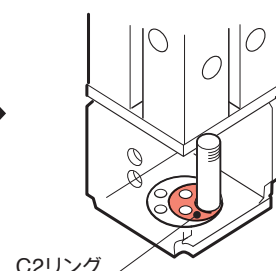
6 C1リング挿入



C1リング

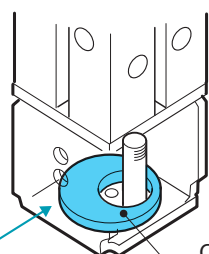
C1リングとボルトが接触するように設置

7 C2リング挿入



C2リング

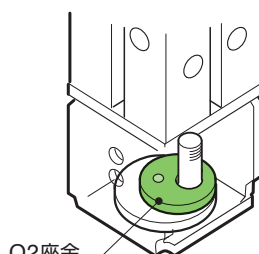
8 Q1座金設置



Q1座金

Q1座金を柱脚金物の穴に均等に
乗るように設置

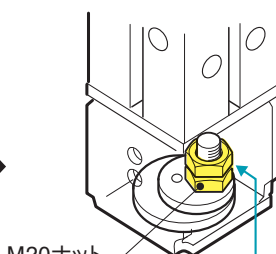
9 Q2座金設置



Q2座金

⚠ 凸部を下向きにして下さい。

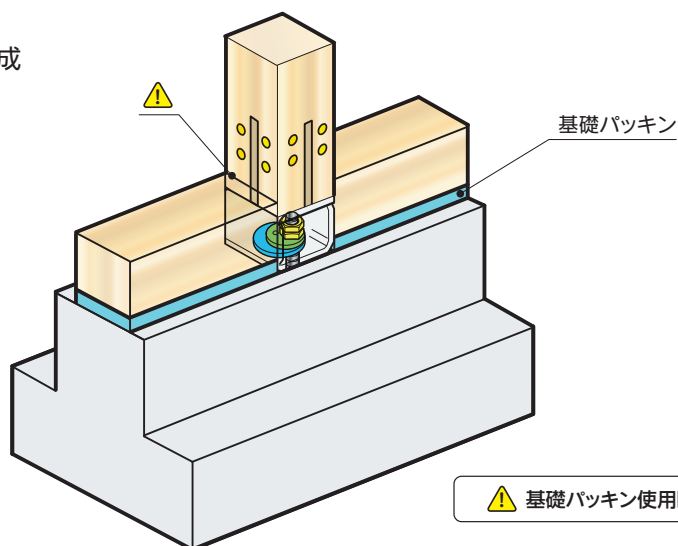
10 M20ナット取付



M20ナット

締付標準トルク: 40N・m

Finish 完成



基礎パッキン

⚠ 基礎パッキン使用時は、土台との干渉に注意して下さい。

構成部品(標準品)

ピタットベース105 (柱105mm×105mm以上) 1箱あたり

- ピタットベース柱脚金物:1個
- C1リング:1個
- C2リング:1個
- Q1座金:1個
- Q2座金:1個
- M20 3種ナット:2個
- ドリフトピン(DP-103):8本

ピタットベース120 (柱120mm×120mm以上) 1箱あたり

- ピタットベース柱脚金物:1個
- C1リング:1個
- C2リング:1個
- Q1座金:1個
- Q2座金:1個
- M20 3種ナット:2個
- ドリフトピン(DP-118):8本

構成部品(オプション品)

- ① ピタットベース用アンカーボルトセット:1セット (M20アンカーボルト:1本、M20 3種ナット:3個、M20座金:1枚)
- ② ピタットベース用アンカーボルト吊下げボルトセット:1セット (吊下げボルトM16-20:1本、M20 3種ナット:2個)

⚠ 取扱いにおける注意事項 (別紙の取扱説明書をこ一読下さい)

- 必ず付属のリング、座金、ドリフトピンを用い、所定の数量で所定の位置に接合して下さい。
- 柱脚金物がドリフトピンの長さの中央に位置するように施工して下さい。
- ドリフトピンの穴をふかして使用しないで下さい。
- ドリフトピンの打ち込みによって木材に割れが生じた場合、木材を取り替えて下さい。
- 接合、締め付け工具類は、適切なものをご使用下さい。
- 本製品はコンクリート基礎の上に直接設置して下さい。
- 現場で防錆・防蟻処理を行う場合は、金物に薬剤が付着しないように注意して下さい。
(金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。)
- 放り投げたり、ハンマーで叩くなど、乱暴に扱うと破損や変形の恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないで下さい。

⚠ 免責事項

本製品に問題が発生した場合には、下記の免責事項を踏まえた上で対応させていただきます。

- 本カタログに記載した注意事項が行われずに発生した不具合。
- 本カタログに記載した事項に反した施工が行われた不具合。
- 本カタログに記載する使用目的以外の使用による不具合。
- 施工業者による施工、取扱いに起因する不具合。
- 瑕疵(かし)を発見後、速やかに届けがなされなかった場合。



岡部株式会社 木造戸建部材グループ

〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2
TEL.03(3624)5401 FAX.03(3624)5154
<https://www.okabe.co.jp/>

北海道支店	011(873)7201	千葉営業部	043(290)0150	京滋営業部	0774(43)2200	大分営業部	097(547)8861
東北支店		横浜営業部	045(651)1741	中四国支店		長崎営業部	095(882)8282
仙台営業部	022(288)7161	北関東営業部	0480(25)5656	広島営業部	082(254)4811	宮崎営業部	0985(29)4965
盛岡営業部	019(606)3780	名古屋支店		岡山営業部	086(273)5671	熊本営業部	092(624)5873
信越支店		名古屋営業部	0568(71)6321	徳山営業部	0834(27)4170	鹿児島営業部	099(812)8380
新潟営業部	025(287)7711	静岡営業部	054(204)2050	山陰営業部	0853(24)9856	沖縄支店	098(856)2700
長野営業部	0268(25)1266	北陸営業部	076(238)7353	四国営業部	087(841)0023		
東京支店	03(3623)6441	関西支店		九州支店	092(624)5871		
東京営業部	03(3623)8181	大阪兵庫営業部	06(6339)9001	福岡営業部	092(624)5886		

● 特約店・取扱店